

消費生活にゅーす

くらしの
安全安心

兵庫県丹波県民局県民課(消費者センター)

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 5600 (TEL 0795-72-5168)



消費生活トピックス



行政をかたる手口にご用心

市役所職員等を名乗り、「支払いすぎた医療費が戻ってきます」「保険料の還付があります」等と言ってかかってくる電話に注意してください。

相手を信用して話を聞くと、「取引先の銀行名を教えてください」「この後、銀行の職員から電話があります」等、次々と話しをたたみかけられ、最終的には、「受取り手続きのためにATMへ行ってください」とATMへ行くよう指示されます。

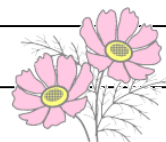
これは、「還付金詐欺」と呼ばれる詐欺の手口です。ATMへ行くと、相手が機械操作の指示を出し、そのとおりに操作をすると、知らずに自分の貯金から相手に送金をしてしまうという仕組みです。

ターゲットは主として高齢者で、兵庫県下でも都市部を中心に不審電話が発生しており、被害も起きています。

行政職員等が、このような電話をかけ、ATMへ行く指示を出し操作をさせることは絶対にありません。相手にしないようにしましょう。

このような電話を受けた場合は、最寄りの警察へ通報していただくとともに、市役所や消費生活センターへ情報提供をお願いします。貴重な情報が被害を防ぎます。

定期購入トラブルに要注意



インターネットで、「お試し」「初回無料」「初回特別価格」という健康食品や化粧品
の広告を見て、低価格で購入できると思い注文をしたところ、実際には複数回購入が
条件の「定期購入」だったというトラブルが数年前から多発しています。

法律が改正され広告の規制が強化されましたが、新型コロナウイルスの影響による
インターネット通販利用者の増加、新規事業者の参入等もあり、トラブルは増加傾向
にあります。

元々、インターネット通販にはクーリング・オフ制度がなく、返品・解約のルール
は事業者の定めによることから、定期購入の解約は簡単にはできません。

トラブルにならないためには、申込前の確認が大事です。スマートフォンの場合、
画面が小さいことや、何度も下方へスクロールしないと重要事項が出てこないことも
ありますが、隅々まで読むようにしましょう。

特に、1回限りの購入か継続購入か、継続購入の場合の回数、返品・解約の方法と
条件、継続購入の場合の支払総額、支払時期と引渡時期等の契約内容については必ず
確認してください。各画面を保存しておくこともたいせつです。



新型コロナウイルスの感染拡大を予防する

ひょうごスタイル



感染拡大を予防する日常生活（ライフスタイル）



1 ウイルスとの共存を意識した生活習慣

- (1) 「3密」（密閉・密集・密接）の回避
- (2) ソーシャルディスタンスの確保（できるだけ2m。最低1m）
- (3) マスクの着用、咳エチケットの徹底
- (4) 手洗い・手指消毒（手洗いは30秒程度、石けん・消毒薬の利用）
- (5) 体温測定・健康チェック（熱や風邪の症状がある時は自宅で療養）
- (6) 発症時やクラスター発生時に備え、いつ誰とどこで会ったかを記録

※熱中症リスクを考慮し、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合は、マスクをはずす。

2 各場面の行動スタイル

| | |
|----------|---|
| 買い物 | ◇通販、電子決済の利用 ◇展示品への接触は控える ◇レジに並ぶときは、前後にスペース ◇計画を立て、1人又は少人数ですいた時間に素早く済ます |
| 公共交通機関 | ◇会話は控えめに ◇混んでいる時間を避ける ◇徒歩や自転車も併用する |
| 食事 | ◇持ち帰りや出前、デリバリーも利用 ◇お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避ける ◇対面ではなく、横並びで座る ◇会話は控えめに ◇大皿は避け、料理は個々に |
| 娯楽・スポーツ等 | ◇公園はすいている時間、場所を選ぶ ◇筋トレやヨガは自宅で動画を活用 ◇ジョギングは少人数で ◇すれ違うときは距離をとる ◇予約制を利用する ◇歌や応援は、十分な距離の確保かオンラインで |
| 冠婚葬祭等 | ◇多人数での会食は避ける ◇発熱や風邪の症状がある場合は参加しない |

感染拡大を予防する働き方（ワークスタイル）

- ◇在宅勤務（テレワーク）、ローテーション勤務 ◇会議はオンラインで
- ◇対面での打合せは換気とマスクを ◇発熱など体調不良の従業員の出勤を停止
- ◇職場での「3密」防止



自然災害と感染症との複合災害への備え（災害文化）



1 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営ガイドラインの活用

2 複合災害に対応するための事前準備

- ・自然災害と感染症との「複合災害」に備え、避難場所・避難所の確認や避難所での対応等について、事前に準備
- ・避難判断にあたっては、「マイ避難カード」や「ひょうご防災ネット」アプリを活用